

■ 松山記念病院発表資料

[要 旨]

院内感染の教育は、全般に渡り系統的に学習することが望まれるが、自施設で実施することは教材や講師に限界がある。当院では日本環境感染学会教育ツール JSEI Ver. 1（以下 Ver. 1）を月1回の年間10回コースに編集し、ICTメンバーが講師となって2006年度に院内研修会を開催した。

全職員432名中185名（42.8%）が参加を希望した。全体を通して各研修会あたり平均124名の参加が得られ、年間を通じた個々の参加状況は8回以上が登録者中の45%を占めた。6割以上の出席をもって、希望者にはICT作成の資格試験を実施し、110名に対して修了証を授与した。

本研修会の教育効果を検討する目的で、Ver. 1に付随している17問の「Q&A」を活用した同じ試験を無記名で実施した。既設の「YES・NO」以外に、「わからない」という選択肢を新設し、さらに「NO」を選択した場合にはその理由を記載させ、適切な場合のみ正解とする「真の正解」を指標として用いた。「真の正解数」は研修前後で、17点中4.17±2.38点に有意に増加し（ $p < 0.01$ ）、さらに10点以上の得点者は1人から56人に著増した。

Ver. 1を用いた研修会は精神科病院でも開催可能であり、系統的な教育が、既存のスライドを利用して、自施設で比較的容易に行うことが可能である。教育効果も高く、多くの職員に対して効率的に行える教育法と考えられた。

Key words : 職員教育、日本環境感染学会感染ツール

詳細は「日本環境感染学会誌」Vol.23, No.5, 2008 371～374頁

日本環境感染学会サイト <http://www.congre.co.jp/jsei2009/>